

児童生徒の主体的な学びを促す  
「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の  
設定例

中学校 総合的な学習の時間

平成30年12月7日更新  
大分県教育庁義務教育課

## 1時間完結型授業の充実に向けて —各教科等の「例」の見方—

### ねらい

- 「目的（身に付けさせたい力など）」と「手立て（その授業の中心となる学習活動）」を明らかにして設定します。
- 評価規準は「ねらい」との整合性をもたせて設定します。
- 指導のねらいは、教師の立場で書くもので児童生徒に提示することは基本的にありません。  
※ただし、指導案では「～できる」という形で、児童生徒の「目標」として提示することもあります。

### めあて

- 「ねらい」を児童生徒の立場で示したものです。
- 具体的には、付けたい力を身に付けさせるための、めざす「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示します。
- 具体的な評価規準が設定できていないと、「めあて」が曖昧なものになります。
- 学習の見通しを持たせ、意欲を高めるものになるように工夫しましょう。

### 課題

- その時間に解決すべき事柄です。
- 「なぜ、～なのか」「～することはできるだろうか」「どうしたら～できるか」等疑問の形で示します。
- 児童生徒が追究したくなる課題になるよう工夫しましょう。
  - ①既習事項や既有事項とのズレがある
  - ②意見の対立・拮抗が生じる
  - ③目標達成のために越えなければならないハードルがある
  - ④素朴な驚きや疑問、憧れから問題意識が醸成される 等の要素がある課題になるよう工夫しましょう

### まとめ

- 本時の課題に対する答え・結論。

### 振り返り

- 学びの成果を実感させ、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげられるよう視点を設けましょう。その際、本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件を設定して学びを振り返らせるなどの工夫をしましょう。

「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の4つがどの授業でも必要であるというわけではありません。「めあて」と「課題」の提示の順序が変わることもあります。大切なことは、型にこだわるのではなく、教科の特性や単元の展開、本時のねらい等に応じて適切に設定することです。



# 新大分スタンダード

新大分スタンダードで  
主体的・対話的で深い学びを実現！

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の授業

## 1 1時間完結型

「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

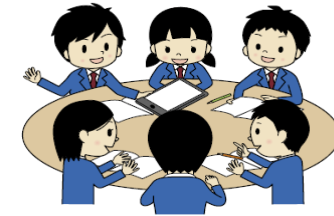
- \*学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」
- \*学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」
- \*追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」

## 2 板書の構造化

\*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

## 3 習熟の程度に応じた指導

- \*「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
- \*「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫



安心して学べる「学びに向かう学習集団」

## 4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を創造する学習展開

- \*各教科等の見方・考え方を働かせて展開する
- 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現・交流→振り返り・評価」等の学習過程の繰り返しの中で行われる
  - ・知識の関連付け、問題の発見・解決、情報を精査した考えの形成、思いや考えに基づく創造
  - ・様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

H30.3月版

## 総合的な学習の時間

【中学校第1学年「地域の魅力を再発見し、〇〇に発信しよう」の指導例】

本時のねらい

グループごとに調べた地域の魅力について、発信する内容を絞り込む視点を位置付けた座標軸を活用して話し合うことを通して、発信したい地域の魅力についてその理由を明らかにした上で焦点化することができるようにする。

めあて

これまでに調べてきた地域の魅力を決定するための視点を決め、パンフレットに載せる内容を絞り込もう。

課題

伝えたい内容を絞り込むためには、どのような視点がよいか。

展開

- ①自分たちが調べた地域の魅力を確認する。
- ②伝えたい内容を絞り込むための視点をグループで決める。
- ③調べた内容を、座標軸の視点に沿って位置付けながら、その理由を話し合う。
- ④選んだ地域の魅力を全体で共有する。
- ⑤本時の学習を振り返る。

まとめ

「優先度が高い」「〇〇地域らしい」など、自分たちの地域の魅力を前面に出していく視点にすると絞り込みやすい。

振り返り

○本時で話し合ったり考えたりしたことを振り返って記述する。  
次の時間に取り組む活動の見通しを書く。

追加

## 総合的な学習の時間

【中学校第2学年「職場体験を振り返って『働くこと』について考えよう」の指導例】

本時のねらい

職場体験学習で各自が学んだことや感じたことを共有したり、職業人の「働くこと」に対する考えと自分の考え等を比較したりすることを通して、「働くことの意義」について自分なりの考えをまとめるようにする。  
【課題「職業人の生き方に学び、働くことの意義について考えよう」による  
23時間目／24時間目】

めあて

職場体験学習を振り返り、「働くことの意義」についての自分の考えを確かめよう。

展開

- ①職場体験学習の様子をICT(活動写真)で振り返る。
- ②職場体験後に作成した壁新聞(個人)や職場体験のしおりを用いて、「仕事に必要な適性・能力」や「この仕事を選んだ理由」について共有する。(考え方の多様さに気付くようにする)
- ③職場体験前の各自の職業観と職場体験後の職業観、職業人の職業観を比較して、自分の考えとしてまとめる。
- ④職業観についてグループで話し合う。
- ⑤本時の学習を振り返る。



振り返り

- 本時で話し合ったり考えたりしたことを振り返って記述する。
- 今後の進路計画を考える際に、本単元の学習を生かすようにする。

## 追加

## 総合的な学習の時間

【中学校第2学年「大分の魅力度ランキングを上げよう」の指導例】

### 本時のねらい

修学旅行で行う大分県のPR活動について、「対象者に適した資料作り」、「目的に適合したものか」「手段は適切か」という視点をもって、班でプレゼンし合い、アドバイスをもらうことを通して、相手や目的、意図に応じた資料等を用いた効果的な表現を考えるようにする。  
【課題「大分の魅力度ランキングを上げよう」による 25時間目／70時間】

## めあて

他の班のPR資料や説明と比較したりアドバイスしたりして、より良いPR活動につながるような表現にしよう。

## 展開

- ①前時の生徒の授業の振り返りの中から、本時の活動につながる内容を取り上げ、本時のめあてとプレゼンの視点を確認する。
- ②班ごとにプレゼンテーションを行い、視点に沿って見合う。  
(よかった点、改善案を付箋に書いて渡す)
- ③もらった付箋を分類・整理し、改善策について班ごとに検討する。  
(伝えたい内容が明確か、それに応じた方法になっているか吟味する)
- ④本時の学習を振り返る。



## 振り返り

- 伝えたいことがはっきり分かるような表現になっているか。
- 大分の魅力として選んだ理由をはっきり表現できているか。 など

## 追加

## 総合的な学習の時間

【中学校第3学年「〇〇の未来について考えよう(〇〇は市町村名)」の指導例】

本時のねらい

グラフ化した統計データを共有したり、分析や考察についての疑問を出し合ったりすることを通して、地域が置かれている現状から課題を見出すことができるようにする。

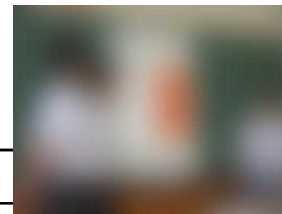
【課題「〇〇の課題を解決し、地域が元気になる取組を考えよう」を生み出す時間】

## めあて

〇〇の現状を出し合って、地域が抱えている課題を明確にしよう。

## 展開

- ①テーマごとに調べた統計データをまとめたものを紹介し合う。  
(データ、分析、考察、アイデアを必ず共有する)
- ②紹介された内容に対する疑問や感想を出し合う。
- ③出された感想から地域のよさをまとめ、出された疑問を分類・類型化し、「さらに調べなければならない点」等にまとめる。
- ④複数の統計データを比較して、共通の課題や班ごとのテーマについての独自の課題を見出してまとめる。
- ⑤本時の学習を振り返る。



## 振り返り

○本時で話し合ったり考えたりしたことによって、地域の課題が明確になったか。

○次の時間に調べたり考えたりする新たな課題を記述する。  
(次の時間の見通しをもつ)